

令和7年 新年のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新年を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の上日には、能登半島地震が発生し、その震災からの復興を目指していた矢先の9月に同地へ記録的な豪雨による深刻な浸水被害が発生しました。多くの犠牲者の方々に、心からお悔やみを申し上げるとともに、被災地の1日も早い復興を願っています。

こうした中、8月には気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、自然災害が決して他人事ではないこと改めて実感する契機となりました。本市では新たな防災拠点である五条川防災センターを開設し、7月から供用を開始した他、多くの避難者の受け入れを想定して、市内小中学校の体育館に、停電時でも使用できるLPガスによる空調設備の整備を完了し、着実に防災体制の強化を進めております。

生活面では、物価高騰の影響を受ける市民生活を下支えするため、物価高騰緊急支援給付金、清須げんき商品券の発行等、様々な措置を講じてまいりました。

次に子育て分野に目を転じますと、厚生労働省の発表（令和6年4月）では、本市の合計特殊出生率は「1.78」と愛知県内では1位でした。



本市としては、子育て施策の強化に引き続き取り組み、「清須こども・はぐくみ宣言」の実現に向けて邁進いたします。

そして、いよいよ令和7年7月7日には、市制20周年を迎えます。既に開設した市制20周年特設サイトで、関連事業の情報を随時発信していきますので、ぜひご注目ください。

令和7年も将来にわたって活力の溢れるまち「力強い清須」を実現するべく、全力を尽くしてまいります。

結びに、新たな年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年となりますよう、また、心身ともに健康でお過ごしいただきますよう心よりご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

清須市長
永田 純夫

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えのことに、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から市議会活動並びに市政運営に対しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。新たな年を迎えるにあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願い、引き続き邁進する覚悟でございます。

さて、昨年を振り返りますと、能登半島を襲った地震と豪雨により、多くの方が犠牲となられました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に一日でも早く穏やかな日々が訪れることを心よりお祈りしております。

本市においては、幸いにも大きな災害は発生しませんでした。こうした災害に対する心構えや予防保全の重要性を改めて認識しているところです。新設された五条川防災センターには、避難場所としての機能に加え、防災資機材等の備蓄機能も持ち合わせており、本市の新たな防災拠点としての役割に期待しております。

また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたことで、本市の各種イベントも再開され、元気な清須市を市内外に発信できるようになってきました。



このような中、今年、清須市は誕生から20年目という節目の年を迎えます。市議会として、先人たちが築き上げたこのまちの魅力を未来へとつないでいきたいという想いを胸に、市当局との議論を深め、進めるべき施策は積極的に進めつつ、時には厳しい意見も申し上げることで、市民の皆様の負託にお応えしてまいります。

さらに、社会の変化に伴い複雑・多様化する行政需要を適確に把握するとともに、議会の公開性・透明性を高め、開かれた議会を目指してまいります。

結びになりますが、新しい年が穏やかな年となることを心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

清須市議会議長
岡山 克彦